

# わかやま 県議会 だより No.20

平成25年[2013]  
5月12日発行(年4回発行)



**きしゅう君**

和歌山県警察のシンボルマスコット。「紀州犬」と和歌山をあらわす「紀州」から「きしゅう君」と命名されました。地域の安全を守るため、県内各地に出動しています。



**2月定例会号**

主な記事

2~3面 平成25年2月定例会の概要

4面 議会活動  
県議会からのお知らせ

## 平成25年度当初予算を可決

一般会計当初予算額 5,672億円



新政策3つの柱

予算特別委員会 質問委員8人

3月8日(金) 向井嘉久藏・角田 秀樹・富安 民浩・松坂 英樹  
3月11日(月) 長坂 隆司・濱口 太史・岩田 弘彦・平木 哲朗

予算特別委員会では、知事から提案された当初予算案について集中審議しました。主な質疑は次のとおりです。

**問** ひきこもり対策について、県ではどのような取組がなされているのか。

**答** ひきこもりの方への支援は、相談支援のほか、自宅以外の活動の場の提供、さらには就労・就学まで関係機関と連携しながら支援をつないでいくことが重要である。県全体の支援拠点として、ひきこもり地域支援センターを設置し、各圏域においては、保健所を支援拠点として相談や訪問支援を行っている。また、ひきこもり地域支援センターが定期的に各圏域において研修を行うなどの取組を進めている。

**問** PM2.5の常時監視体制強化と県民への情報提供はどのようにするのか。

**答** 現在、環境省ホームページや県ホームページにおいて公表しているが、PM2.5について環境省より示された「注意喚起のための暫定的な指針」に基づき、今後、監視体制の強化に努めるとともに、数値が指針の判断基準レベルに達した場合の具体的な対応を策定し、ホームページ上の情報発信に加え、関係機関やマスコミ等を通じ、速やかに県民に対し注意喚起していく。

**問** 社会資本の急速な老朽化に備え、計画的・戦略的な見直しを持った維持管理計画が必要ではないか。

**答** 道路の橋梁や河川の排水機場等については、長寿命化修繕計画に基づき、点検及び修繕を予防保全的に行っている。また、トンネル、舗装については、点検を実施して修繕計画を立て計画的に対策を行っている。それ以外の道路の法面や河川の堤防、護岸、堆積土砂等については、台帳やカルテなどを活用した日常の巡視点検等により、適時的確な対策を行っている。近年、社会資本に関する維持管理については社会的関心事であり、今後の技術開発の動向を見ながら、計画的な維持管理を引き続き行っていく。

**問** 全国に誇れる和歌山県の果実資源を生かした和歌山フルーツバレー構想を推進してはどうか。

**答** フルーツバレー構想とは、果実に関する生産技術や加工技術の開発、機能性の研究、新製品の開発などを行うため、関連する研究機関や食品関連企業の集積を図っていくものである。現在、産学官の力を結集して果実の機能性研究や新商品の開発等に取り組んでいる。その成果を具体的に実現していくことで、フルーツバレー構想につなげていきたい。

**問** 日本ジオパーク認定に向け、南紀熊野ジオパーク推進協議会はどのような取組を進めていくのか。

**答** ジオパークの認知度の向上を図るため、講演会やフィールドワークの開催、チラシやマップの作成、ホームページの開設などを考えている。また、ジオツアーの開催に加え、フォトコンテストの実施やロゴマークの公募など、多くの方々にジオパーク活動に参加してもらえ、魅力を現場で語るジオガイドの養成にも取り組んでいく。

**問** 燃料価格の上昇に伴い、施設園芸農家の燃油価格補助制度を緊急に設けてはどうか。

**答** 高品質化や周年栽培により、少ない面積でも収益を上げられる施設園芸の振興は、本県にとって大変重要である。今後、燃油価格の動向を注視しながら、農家経営への影響、漁業用燃油対策等を踏まえ、検討していく。

**問** 橋本市から和歌山市までのサイクリングロードが計画されているが、これを生かした振興策はどのように考えているのか。

**答** 紀の川流域は豊かな自然や文化財が点在した地域である。現在計画中のサイクリングロード整備にあわせ、各種イベントの開催やマップの作成など、サイクリングを活用した地域活性化に取り組んでいる。広域レンタサイクルについても、関係団体と協議し、進めていきたい。

**問** 農業者等が新たに食品加工に取り組み場合、県としてどのように支援していくのか。

**答** 新商品開発支援として、専門アドバイザーが企画段階から商品のコンセプトやデザイン等についてアドバイスを行い、商品開発を総合的に支援している。また、品質管理では、製造工程等の品質管理に特化した研修コースを用意している。さらに、商談会等で成約率の向上を目指すため、現役の百貨店バイヤーを講師に招き、自社商品のPR力とバイヤーとの交渉力を磨く講座を実施するなど、県内事業者の販路拡大を支援していく。



とどげ笑顔!! 郷土の未来づくりに向け



# 知事提出議案ほか 意見書などを可決

## 2月定例会の概要

2月20日～3月15日の24日間

### 会期中の主な動き

- 特別委員会の開催
  - 行政改革・基本計画等に関する特別委員会 …… 3/7
  - 予算特別委員会 …… 3/8、11、14
- 条例案検討会の開催
  - 中小企業振興に係る条例案検討会 …… 2/22
- 県選挙管理委員・補充員の選挙 …… 3/15

### 一般質問議員 15人

3月1日(金)	3月4日(月)	3月5日(火)	3月6日(水)	3月7日(木)
大沢広太郎 服部 一	岸本 健 中 拓哉 高田 由一	浦口 高典 片桐 章浩 鈴木 太雄	森 礼子 山本 茂博 中村 裕一	井出 益弘 藤本眞利子 雑賀 光夫 尾崎 要二

2月定例会の主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、下記のとおりです。(要約抜粋)

### 防災・復旧・復興

#### 台風12号災害の復旧状況

**問** 紀伊半島大水害からの復旧について、平成24年度中に95%完了させるとのことであるが、現状はどうか。また、残りの5%は平成25年度で完了するのか。

**答** 現在、1100を超える被災箇所のうち74%が完了し、平成24年度末での95%の完了に向けて各地で工事が急ピッチで進められ、ほぼ達成できる見込みである。残る箇所のうち、大規模な被災箇所以外は平成25年度末までに、大規模な被災箇所についても今後2、3年をめどに完了させ、地域の方々が安心して暮らせるよう、復旧に全力で取り組んでいく。

#### 七瀬川の改修

**問** 最近、大雨により浸水する七瀬川(和歌山市)の改修が進んできたが、10年以内の完成目標で努力してほしい。現在の改修状況と今後の見通しはどうか。

**答** 紀の川合流部の鴨居樋門が流下能力不足のため、平成26年度をめどに国が改築を進めている。それと並行し、県では河川の用地取得を進め、上下流のバランスを考慮しながら改修工事を実施している。鴨居樋門、鴨居川合流点は約8割が用地取得済みで、下流より護岸工事を進めている。国道24号までは平成29年度の完成を目指しており、残る区間についても、用地取得の協力を得て10年以内で完成できるように努める。

### 道路

#### 高速道路の整備促進

**問** 近畿自動車道紀勢線の未事業化区間のすさみ、太地間、新宮、大泊間の新規事業化に向けて今後どう取り組むのか。また、有田、田辺間の4車線化についてはどうか。

**答** 紀伊半島一周道路の実現は、南海トラフの巨大地震など大規模災害に備えて不可欠かつ急務な、現政権が進める国土強靱化の根幹をなす事業であり、現在、未事業化区間を平成25年度に新規事業化されるよう強く求めている。有田、御坊間の4車線化については直ちに事業着手するよう、また事業化が見送られている御坊、南紀田辺間も早期に事業を復活するよう、引き続き国に対して強く働きかけていく。

#### 和歌山南インターチェンジの設置

**問** 和歌山南インターチェンジをスマートインターチェンジとして県主体で整備すると発表された。国土交通省の高速道路利便増進事業を利用することであるが、計画の詳細を示されたい。

**答** 新規のスマートインターチェンジとして、国の制度に乗りおくれるおそれが出てきたので、整備に乗り出す意向を明らかにした。接続道路の構想が大事であるが、南港山東線を東伸して南インターと直接接続すれば円滑なアクセスが可能となり、さらに東側で和歌山橋本線に接続すれば紀の川市方面からの利用もスムーズになる。こうした整備を一体的に行うため県が事業主体となり、関係自治体と協力して、地元の理解を得ながら整備していく。

### 農業

#### 中晩柑オリジナル品種の育成

**問** 本県では、ミカン以外の中晩柑についてオリジナル品種の育成や産地化の話は余り聞かない。愛媛県の「紅まどんな」のように、県独自品種の開発が必要ではないか。

**答** 果樹試験場では、食味、むきやすさ、食べやすさに注目して選抜した中晩柑の品種開発に取り組む、例えば清見とポンカンを交配した有望系統を絞り込んでいく。今後、生育特性や現地適応性を調査した上で数年後に品種登録し、県内果樹農業の振興につなげたい。

#### ウメ輪紋ウイルス対策

**問** 「和歌山県ウメ輪紋ウイルスの侵入及びまん延の防止に関する条例」により、早期発見されて木が処分された場合、その補償をどう考えているのか。

**答** ウメ輪紋ウイルス感染木が処分された場合、植物防疫法第20条に基づき損失補償される。補償額は、国が定める単価表で算定した評価額について評価人の意見を聞いて基準価格を決め、処分される木の所有者との交渉で決定される。そうした不幸な事態とならないよう、県条例を活用して未然防止、侵入防止に努めていく。

### 少子高齢化対策

#### わかやま結婚支援の取組

**問** 最近、未婚や晩婚の人がふえている中、県ではわかやま結婚支援事業を展開するようであるが、どのような取組か。

**答** これまで少子化対策として、紀州3人っこ施策等の子育て支援施策を中心に取組み、一定の成果を上げているが、未婚化、晩婚化が急速に進み、早急に対応すべき課題となっている。わかやま結婚支援事業は、この課題解決に向け、出会いの場を創出するものであり、県主催のイベントを県内各地で開催するとともに、「わかやま婚活応援隊」を新設し、県民総ぐるみで結婚サポート体制を推進していく。



#### 将来の人口ピラミッドを見据えた取組

**問** 超少子高齢化社会の到来が避けがたいことから、市町村や県民と一体となって取り組んでいく必要があると思う。そのため、県民により意味での危機感を持ってもらえるような力強いメッセージを知事から発信してはどうか。

**答** 人口減少や少子高齢化を最小限に抑えるため、あらゆる政策を長期総合計画に盛り込み、具体的に毎年取組を進めている。人口減少をできるだけ食い止め、高齢者生活も楽しく暮らせるような政策を続けていくので、県民も希望を持ってそういった取組に参加してほしい。



七瀬川沿いの風景



ウメ輪紋ウイルス感染の症状



議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
予算案件(知事提出)	31件	平成25年度和歌山県一般会計予算等	可決
条例案件(議員提出)	1件	議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例	
条例案件(知事提出)	30件	附属機関の設置等に関する条例等の一部を改正する条例等	同意
人事案件( // )	1件	和歌山県副知事の選任につき同意を求めるについて	
その他案件( // )	12件	平成25年度建設事業施行に伴う市町村負担金について等	可決



項目	件数	件名	結果
意見書	7件	環太平洋パートナーシップ協定(TPP)交渉参加に関する意見書	可決
		近畿自動車道紀勢線の南紀田辺までの4車線化と紀伊半島一周の早期実現及び京奈和自動車道の整備促進を求める意見書	
		地方の意見を尊重した衆議院選挙制度改革を求める意見書	
		ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書	
		意見書に対する関係行政庁等からの誠実回答を求める意見書	
		少人数学級の推進及び義務教育に必要な財源の確保を求める意見書	
		TPP(環太平洋連携協定)交渉参加に反対する意見書	否決

健康・福祉

病児・病後児保育の充実

**問** 病児・病後児保育事業については、保育所型施設は医師が常駐していない不安から利用者が少なく、医療機関併設型は、ニーズが高いが、まだ施設数が少なく各地域で利用できる状況ではない。その充実についてどう考えるか。



**答** 現在、病児・病後児保育事業は11市町9施設で、ファミリー・サポート・センターでの預かりは9市町で行われており、年々充実してきている。さらに多くの方に利用してもらえよう、広域実施の促進や運営補助等の支援により、事業の拡大に取り組む。病児・病後児保育実施施設では、保育所型、医療機関併設型にかかわらず、協力医療機関との連携体制を十分整えることとなっており、安心して利用してもらえよう事業内容のさらなる周知を図っていく。

風力発電の低周波問題

**問** 風力発電による低周波が問題になっている。由良町畑地区など、被害住民からの訴えも届いていると思うが、どう対応するのか。

**答** 早期に科学的、客観的な基準を設定する必要があるが、多くの知見を集めて行わなければならない。国でないとできないと考えている。平成23、24年度と政府提案も行い、検討もかなり進んでいると理解している。現状では、地元区、町と事業者が協議して対応すべきと考えているが、県としても必要な協力を行っていききたい。

福祉の視点に立った行政施策

**問** 県施策を福祉の視点で総点検し、全庁で社会的弱者の自立と就労のための施策に取り組んでほしいが、どうか。

**答** 県は、これまで、障害のある方や母子家庭の母など、就職困難な方の経済的自立を支援するため、関係部局や和歌山労働局と連携して様々な事業に取り組んできた。今後も、従来実施してきた取組の充実強化を図るとともに、関係部局と検討の場を設け、就労困難な方の就労機会の拡大に努めていく。

観光

公衆トイレの整備

**問** 本県を訪れる皆さんが安心して快適に旅行を楽しめるよう、誰もが利用する観光地の公衆トイレを整備する必要があるが、どのような考えで、どう進めるのか。

**答** 改修等を要する観光地の公衆トイレは約120カ所あり、平成26年度までの2カ年で、温水洗浄機能つき洋式便器への取りかえや小便器の自動洗浄化等を促進するとともに、維持管理の向上にも取り組むことで、観光地の公衆トイレの整備、美化に努めていく。



教育

いじめの再発防止

**問** 平成24年12月にいじめが1因と思われる自殺未遂が公立中学校で発生したが、知事はこの問題をどう捉え、また再発防止についてどう考えているのか。

**答** 事件が起こる起こらないにかかわらず、いじめは絶対に許されない。いじめには、子どもや保護者の訴えに敏感に反応し、迅速かつ的確に取り組むことが重要である。また、日常の教育活動の中で、命の大切さや人を思いやる心、卑怯なことを許さない正義感等を身につけさせていくことが大切であり、各学校で道徳教育にしっかりと取り組んでいってもらいたい。



予算

平成25年度予算における経済対策

**問** 昨年末に誕生した安倍政権は「経済の再生」に全力で取り組むことを強調したが、それを裏のあるものとするため、県の当初予算でどのように対応したか。

**答** 国の経済対策を最大限活用し、2月補正予算と当初予算を切れ目のない13カ月予算で編成し、前年度を309億円上回る6057億円の積極的予算とした。特に平成25年度の公共投資については対前年度比17.3%増の約1488億円を確保し、真に必要な道路整備や河川整備等を一気に前進を図ることとした。

市町村合併

合併市町村の課題と県の責任

**問** 合併による財政メリットは否定的だが、役場や周辺地域が担ってきた機能やきめ細かなサービスが失われ、過疎化を加速させたのではないかと。合併後の市町村の課題と合併を推進してきた県の責任は。

**答** 市町村合併により、合併特別債の使用やスケール拡大による分業化、機動性の向上、専門化等が可能となった。一方、本庁舎に職員が集中して旧町村地域のぎわいが低下し、広大な面積に点在する集落に行政の配慮が行き届いていないなどの批判もある。県では、市町村合併支援プランに基づく支援施策を積極的に進めており、引き続きしっかりと取り組む。また、過疎集落再生・活性化支援事業やわがまち元気プロジェクトなどの施策を平成25年度当初予算にも計上しており、このような事業により旧町村地域の活性化に取り組んでいく。





# i Information

## 県議会からのお知らせ



### テレビ・ラジオ放送



定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

#### テレビ テレビ和歌山(WTV)

**県議会だより** 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送  
(6月定例会の放送予定 6/11、19~21、24、28)

**県議会手話だより** 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送

#### ラジオ 和歌山放送(WBS)

**県議会ダイジェスト** 開会、質問、閉会日の22時から15~30分間放送(6月定例会の放送予定 6/11、19~21、24、28)

### 県議会ホームページ



和歌山県議会

和歌山県議会

検索

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

- 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- 議会開会中は、質問など本会議場での模様を**生中継**しています。また、この**中継録画**や**テレビ広報番組の録画**をいつでも見ることができます。

### 傍聴してみませんか



- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

#### 平成25年6月定例会 会期日程(予定)

本 会 議	6月11日(火)・12日(水)
本会議(質問)	6月19日(水)~21日(金)・24日(月)
常任委員会	6月25日(火)・26日(水)
本 会 議	6月27日(木)・28日(金)

※この日程は予定ですので、変更されることがあります。傍聴を希望される方は、開催日時等をお確かめください。

### 「点字版・テープ版」のご案内



本紙の点字版、テープ版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

### 虚礼廃止にご理解・ご協力を!

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っています。

- 冠婚葬祭、慶事、見舞い及び各種行事等における寄附行為の禁止(本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除く)
- あいさつ状の禁止
- 議員名、議員団名及び会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
- 中元や歳暮の贈答はしない
- お祝い・おくやみ電報等は出さない(親戚・友人は除く)



**2015 紀の国 わがやま国体**  
第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆



**2015 紀の国 わがやま大会**  
第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

発行日/平成25年5月12日  
編集・発行/和歌山県議会 ☎ 073-441-3560  
〒640-8585(県庁専用郵便番号) 和歌山市小松原通1-1

# Topics

## 議会活動を紹介



全面的に反映した新しい「和歌山県がん対策推進計画」がスタートし、県庁に初めて「がん」の名称をつけた専門のセクションとして、福祉保健部健康局健康推進課に「がん・疾病対策班」が設置されました。また、全国初の新事業として、検診対象の県民の方全員に検診受診クーポン(案内)をお送りするなど、がん対策先進県を目指して着実な取組が始まっています。

### がん対策先進県を目指して 和歌山県がん対策推進条例 本格始動

議員提案条例として、去る12月定例会において全議員賛成のもとに可決・制定された「和歌山県がん対策推進条例」は、昨年12月28日に公布・施行されました。

2月9日には、県内のNPO団体の主催で「和歌山県がん対策推進条例制定記念シンポジウム」が和歌山市民会館で開催されました。

来賓として出席した山下直也議長(がん対策推進に係る条例案検討会座長)は、条例制定の理由、背景や特徴、ねらいとする効果について説明後、「私自身、言葉だけでなく実行を常に心がけています。これからも、具体的な施策について、県当局ともしつかり議論し、県民の皆様が真に安心して暮らせるよう、引き続き取組を進めてまいります」と力強く話しました。

そして、平成25年度に和歌山県がん対策推進条例を全面的に反映した新しい「和歌山県がん対策推進計画」がスタートし、県庁に初めて「がん」の名称をつけた専門のセクションとして、福祉保健部健康局健康推進課に「がん・疾病対策班」が設置されました。また、全国初の新事業として、検診対象の県民の方全員に検診受診クーポン(案内)をお送りするなど、がん対策先進県を目指して着実な取組が始まっています。

### 第3回中小企業振興に係る 条例案検討会を開催

県議会では、昨年9月に中小企業振興に係る条例案検討会(尾崎要二座長)を設置し、議員提案による政策条例である「和歌山県中小企業振興条例」(仮称)の制定に向けて検討を進めています。

2月22日に開催した第3回検討会では、県内経済5団体の方々をお招きし、県内中小企業の現状や課題についてお話を伺うとともに、中小企業振興や条例制定に向けた御意見・御提案をいただきました。

今回いただいた御意見等を十分に参考にし、実効性のある条例づくり而努力していきます。

#### 県内経済5団体出席者

- 和歌山県商工会議所連合会
- 和歌山県商工会連合会
- 和歌山県中小企業団体中央会
- 和歌山県経営者協会
- 一般社団法人和歌山経済同友会

片山 博臣	片山 博臣	会長
山下 修史	山下 修史	副会長
細江 雅生	細江 雅生	会長
榎川 美則	榎川 美則	会長
直尚 代表幹事	直尚 代表幹事	代表幹事



### 関西広域連合議会3月定例会が開催

#### 農林水産物の地産地消への取組

関西広域連合議会の3月定例会が3月2日に大阪市において開催されました。

関西広域連合における農林水産物の地産地消への取組については、連合議会の総意としての申し入れを受け、和歌山県を担当県として、構成府県市でこれまで協議を重ねた結果、3月定例会に予算案が提案されるに至りました。

一般質問で本県選出の尾崎要二議員は、「まず地場産、なければ府県産、なければ広域連合区域産」と広げていくことを基本に、学校給食を実施している政令市での率先した取組を求めると、地産地消の強力な推進を要請しました。

